

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	局所進行食道癌に対する術前化学療法前の MCV と予後
	研究目的	局所進行食道癌は術前化学療法と根治手術が現在の標準手術である。しかし依然として予後は不良である。バイオマーカーなどの予測因子の同定が局所進行食道癌の予後改善に対して重要である。平均赤血球容積 (MCV) は最も一般的は血液学的パラメーターの 1 つであり、様々な固形腫瘍に対する MCV の予測的役割が近年注目を集めている。実際に MCV は食道癌をはじめとしていくつかの悪性腫瘍で予後との関連性が指摘されているが、標準治療の開始前の MCV 値と予後との関連性の報告はない。この研究は、MCV と臨床病理学的特徴および術前化学療法とその後の完全切除を受けた食道扁平上皮癌患者の予後との関連を調査することを目的とした。
	研究対象者	2011 年 1 月から 2018 年 12 月まで当院で術前化学療法 + 根治的食道切除を受けた 169 人を対象とした。 原発性食道扁平上皮癌、臨床ステージ II,III を対象とし、3 剤併用の術前化学療法または術前化学放射線療法、R1/2 切除、サルベージ手術を受けた患者は除外した。
	研究期間	西暦 2021 年 4 月 19 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	渡邊勇人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし